

広臨技ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>
 (ケイタイサイトへ <http://mw.hiroringi.or.jp/entrylist/>)

第28回広島県医学検査学会のお知らせ

日時：平成23年3月5日(土) 13:00~17:45
 平成23年3月6日(日) 9:00~16:15
 開催場所：三次ロイヤルホテル 三次市十日市東6-13-25
 TEL (0824) 62-5161 <http://www.miyoshi-royal.co.jp/>

テーマ：「臨床検査の明日を考える」

3月5日(土)

連絡責任者会議

13:00~13:50 連絡責任者会議「会費納入等の日臨技報告と法人化、ならびに意見交換」

第28回 広島県医学検査学会 第1日目

14:00~14:15 受付

14:15~14:20 開会

14:20~16:30 シンポジウム テーマ「臨床検査技師の明日への役割」

平成22年度 第2回定期総会

16:30~16:45 受付

16:45~17:45 予算総会

18:00~20:00 懇親会 三次ロイヤルホテル

3月6日(日)

第28回 広島県医学検査学会 第2日目

9:00~9:30 受付

9:30~11:30 一般演題(11題)

11:30~12:00 展示見学・休憩

12:00~13:00 ランチョンセミナー(昼食) 2演題

13:15~14:15 教育講演 「韓国における臨床検査技師と細胞検査士の現状」
 ソウルCFCセンター・マネージャー
 (元 韓国国立医療センター技師長)
 パク・ノウオン 先生

14:30~14:45 臨床検査プロモーションタイム

14:45~15:45 一般公開講座「救急救命士の業務と病院との連携」(仮題)
 三次消防署 救急救命士

16:00~16:15 表彰式・閉会

第28回広島県医学検査学会 特別企画のお知らせ

昨年に引き続き今学会で、一般演題の中から優秀な発表を選考し、その発表者の所属施設を表彰することになりました。表彰式は、一般公開講座の終了後行います。

尚、この特別企画は、安松弘光参与よりご提案をいただきました。

平成 22 年度 第 3 回理事会議事録

開催日：平成 22 年 11 月 4 日（木） 18：30～20：30

場 所：技師会事務所

参加者：板羽、水野、足免、丹下、田中、藤上、小原、矢野、笹谷、米田、河岡、荒瀬、播野、長岡、森本、平賀、岩増、巻幡、新川、鈴木、若林、坂田

欠席者：竹本、有谿、新田

書 記：（組織）笹谷

< 報告事項 >

1. 板羽会長より報告

1. 検査室精度保障施設認証制度について

「広島県臨床検査技師会・精度保障施設認証委員会委員」

委員長：新田和雄 副委員長：板羽秀之

委員：水野誠士、西島敬治、丹下富士男、柳田紳一郎

第 1 回認証委員会 10 月 22 日

内容：基幹病院の申請手続きについて、申請者は技師長とし、生涯教育履修を終了していること。

11 月 11 日までに提出。一般病院については 12 月に申請が提出された時点で審議する。

（申請についてはホームページで案内をしている。）

2. 日臨技は一般社団法人の取得を目指す。

税制上の優遇措置がある公益法人には、公益目的の事業比率が 50%以上という認定基準が設定されている。現時点でクリアするのは困難と判断したのが今回の決定理由。

詳細は J AMT に掲載されている。来年度総会で決定される予定。

3. 平成 25 年度日臨技医学検査学会は中国四国地区で担当ですが、中国地区は立候補を見送りとする。

四国地区は香川開催なら立候補する。決定は松江での中国四国地区合同会議で決定予定。

4. 中国地区技師会について

・支部化に伴い運営が変更される。

・中国四国地区の会長が支部の役員となる。

・中国地区研修会・中国四国医学検査学会は日臨技主導で行われる予定である。

(質問)

・一般病院で精度保障施設の申請を行う場合、さらなる精度管理予算（5 万円）計上を事務室に説明するアドバイスはないか？

(応答)

・今後精度保証に関する業務が診療報酬にまで反映され、かかる収支が円滑に進められるよう活動していくので理解してもらいたい。

< 各部報告 >

1. 事務局 田中事務局長より報告

・広臨技 60 周年記念事業・ワクチンの署名協力のお礼。

・平成 23 年度から年会費納入方法が変更される。速報にお知らせとして掲載しているので会員に周知をお願いします。

・事務所維持協力金返金について

未申請者・証書紛失者の方の振り込みでの返金作業をおこなっている。また、広臨技を退会した会員への返金作業は住所不明となっており、連絡がとれない。そのため勤務されていた施設へ可能な範囲で協力をお願いする案内を送付する。

2. 学術部 藤上部長より報告

・全国学会の座長推薦依頼がきている。微生物・一般・生理呼吸機能・免疫血清・血液・チーム医療で、各部門で選出している。

・前年度広島県医学検査学会の演題投稿論文を構成作業している。

・日臨技の医学検査に広島県推薦論文で広島大学の原さんが選出された。

・中国地区研修会（形態部門血液・感染制御部門）の案内を速報に掲載している。

3. 経理部 小原部長より報告

- ・現在の会員数
継続 1,416 名・新人 67 名・県会員 1 名で 1484 名
- ・中間監査書類の確認作業をする。来年度予算で今年度と変更のあるところは検討している。
- ・事務所維持協力金返金について
これまでに 631 万円返金している。未申請者・証書紛失者の方の振り込みでの返金作業で 248 名に書類を送付した。広臨技を退会した会員（約 200 名）への返金作業は住所不明となっており、連絡がとれない。そのため勤務されていた施設へ可能な範囲で協力をお願いする案内を送付する。内容は返金対象となる退職者リストを施設へ送付し、連絡責任者（技師長）から連絡を取っていただき、事務所に返金に関する資料請求する旨を伝えていただく。寄付は受け付けず、今年度中に返金作業を終了させ、来年度は受け付けない方針である。

4. 渉外・法規部 河岡副部長より報告

- ・9月11日(土)「HIV/AIDS ケースマネージメントプログラム(CMP)基礎研修会」
(りょうちゃんず主催：広島市女性教育センター) 参加：竹本、河岡
- ・9月20日(月・祝)「創立60周年記念事業」
県知事表彰
表彰(板羽会長、丹下副会長、水野副会長)
- ・9月22日(水)「21世紀県民の健康とくらしを考える会」の企画会議
出席(竹本) 平成23年1月22日アステールプラザで開催される。
- ・10月16日(土)、17日(日)「HIV/AIDSの予防ケア入門編研修会」(エイズ予防財団主催)
参加(足免副会長、河岡) 実務委員17日のみ(竹本)
- ・10月24日(日)「ピンクリボンdeサンフレッチェ」平成22年度日臨技国民健康増進委託事業：乳がん予防啓発に関する事業：広島ビッグアーチ 参加：当会から18名のボランティア

予定事項

- ・11月23日(火・祝)「がん検診にいこうよキャンペーン」(広島県が主催：福山市) 現在ボランティアを募集中
- ・11月28日(日)「健康食育フェア」(海田保健センター主催：海田町ひまわりプラザ周辺)
啓発物品を提供予定
- ・12月4日(土)世界エイズデーに合わせ「HIV簡易検査イベント」を広島市と福山市で同時開催予定(当会、広島県、広島市及びNPO法人のりょうちゃんず主催)(当会、福山市主催) この事業も平成22年度日臨技国民健康増進委託事業
活動時間 広島は13:00～19:00 福山は10:00～16:00
現在ボランティアを募集中、速報に掲載している。

5. 組織調査部 笹谷部長より報告

- ・7月24日東部地区新入会員オリエンテーションを開催した。
- ・8月21日東部地区以外の新入会員オリエンテーションを開催した。参加は21名。
- ・9月20日開催の広臨技創立60周年・社団法人化20周年記念式典・祝賀会に仁川広域市臨床病理士会より6名参加された。(2名招待)

6. 広報部 矢野部長より報告

- ・「広臨技創立60周年・社団法人化20周年記念事業誌」発行にともない、原稿及び関係資料作成のご協力をお願いする。

<各地区理事報告>

●広島地区 森本理事より報告

- ・9/4 カーブ観戦(カーブ VS 阪神) 40名参加 懇親会は当会顧問の中本県議も参加いただき42名で行った。

●呉地区 丹下副会長より報告

実施報告

- ・8/5 輸血談話会 26名参加
- ・8/20 呉地区血液研修会 13名参加
- ・9/8 呉地区細胞診研修会 12名参加
- ・9/16 呉地区微生物研修会 7名参加

- ・ 9/30 呉地区研修会 15名参加
- ・ 10/14 輸血談話会 14名参加
- ・ 10/20 呉地区心エコー勉強会 25名参加
- ・ 10/28 呉地区研修会 15名参加

予定研修会

- ・ 11/10 呉地区細胞診研修会
- ・ 11/12 呉地区血液研修会
- ・ 11/18 呉地区微生物研修会
- ・ 1/20 輸血談話会
- ・ 2/4 呉地区血液研修会
- ・ 2/24 呉地区研修会
- ・ 2/16 呉地区微生物研修会
- ・ 3/9 呉地区細胞診研修会
- ・ 11/25 呉地区懇親会（ボーリング大会）
- ・ 1/28 呉地区意見交換会

●東部地区

巻幡理事より報告

実施報告

- ・ 9/30 第3回生涯教育講座（参加60名）
- ・ 10/21 東部地区生理研修会（参加46名）
- ・ 10/23 東部地区一般研修会（参加36名）
- ・ 10/31 東部地区病理細胞診研修会

予定研修会

- ・ 11/25 第4回生涯教育講座
- ・ 11/27 第14回東部地区学会
- ・ 11/28 平成22年度日臨技精度管理報告研修会（フォトサーベイ）
第17回 福山医学祭
- ・ 12/4 世界エイズデーキャンペーン in 福山

質問

- ・ 糖尿病療養指導士研修会などで、日臨技生涯教育点数として個人として申請する手続き方法
→日臨技のホームページから自己申告書の様式を用いて、都道府県技師会へ研修実績を申請する。
- ・ 技師会会員でない研修会参加者への対応
→技師会への入会を勧める。

●東広島地区

平賀理事より報告

実施報告

- ・ 9/9 第11回がん関連研修会 「形を見る」 場所 東広島医療センター 参加者 27名

予定研修会

- ・ 11/5 東広島地区各施設の現状報告・意見交換会
- ・ 11/18 第12回がん関連研修会 「皮膚にできるがん（仮）」
- ・ 11/29 「POCTの現状と将来」

●北部地区

岩増理事より報告

実施報告

- ・ 10月2日15時～3日10時
北部・組織調査、合同研修会「星を観る会」 参加者15名
(内視鏡についての講演 松尾内科病院 新川 俊也 技師)

予定研修会

- ・ 11月20日（土）14時30分～ 第3回北部地区研修会 （庄原赤十字病院）
- ・ 12月4日（土）15時～ 第4回北部地区研修会 （市立三次中央病院）

第28回医学検査学会について

日時：平成23年3月5日12:30～3月6日16:30

連絡責任者会議・平成22年度2回定期総会開催

テーマ「臨床検査技師の明日への役割」

基調講演は蒲田医師（庄原赤十字病院）シンポジスト4名で

一般演題は11題

教育講演「韓国の臨床検査技師について」は韓国の技師が講演予定

広告・展示・ランチョンセミナーを依頼した。

後援は広島県、県医師会、三次市、三次市医師会、庄原市、庄原市医師会に依頼した。

<討議事項>

会長提出議案

1. 広臨技の法人化について
日臨技が一般社団法人で運営していくことが決定されたので、広臨技としても公益社団法人か一般社団法人にするか理事会決定し、会員へのアピールを行っていく。24年には取得をするためには、23年度内に総会で承認を得る必要がある。検討委員会・勉強会等を実施する予定。
2. 松江の中国会長会議で日臨技への要望があれば会長まで提出。
3. 選挙管理委員会及び役員推薦委員が承認された。
4. カレンダーおよび速報原稿の締切厳守について
最近、カレンダーおよび速報原稿の締切が守られておらず、広報部、学術部、事務局にて混乱が生じている。そのため、決められた締切以降は掲載しない。研修会案内の遅れた場合や、変更のある場合はホームページで対処をお願いする。ホームページ委員若林さんへ連絡。

事務局より

1. 事務所のシュレッターの調子が悪く業務に支障があるので、修理か購入してほしい。
→購入する方向で経理部と相談

会員表彰の推薦について

(社)広島県臨床検査技師会では、会員の研究意欲の高揚と資質の向上を図る目的で、優秀な論文に学術業績者賞、学術活動に功績のあった人に学術奨励賞、技師会活動に顕著な功績のあった人に功労賞などの表彰制度を設けています。

表彰該当者がありましたら、右記推薦状の要領で地区担当理事に提出して下さい。

[推薦理由]

学術業績……臨床検査等の学術面における功績
学術奨励……学術部活動や地区活動等に積極的に参加、発表し検査技師の模範となりうる会員
功労者、永年職務精励者……長年にわたり功労のあったもの

(会員歴、役員歴、年齢が該当する会員)

特別賞……特別に表彰を認めたもの

* A4用紙にて作成

* 推薦状提出締切日：平成23年3月31日

* 問い合わせ先：(社)広臨技 表彰委員会

推薦状

推薦者氏名 印

勤務先

地区担当理事 印

推薦する賞

被推薦者氏名

勤務先

「推薦理由」具体的に書いて下さい

(例)業績、役員歴など

厚生連広島総合病院

水野 誠士

TEL 0829-36-3111

FAX 0829-36-1279

平成23年 新春祝賀会の開催について

日時 平成23年1月15日(土) 18時30分から20時30分

場所 ホテルグランヴィア広島 3F 天平

(広島市南区松原町1-5 TEL 082-262-1111)

会費 10,000円

問合せ先：広臨技事務所 TEL/FAX：(082)502-6011 / (082)502-6031



「ピンクリボン de サンフレッチェ」に参加して

KKR 吉島病院 臨床検査科
吉山 杏奈

平成 22 年 10 月 24 日（日）に広島ビックアリーナで行われた、平成 22 年度日臨技国民健康増進委託事業「ピンクリボン de サンフレッチェ」乳がん予防啓発キャンペーンに参加してきました。

以前、友達が「胸に硬いしこりがあるんじゃない。」と話していました。その時は、「ふ〜ん」と気にも留めなかったけど、臨床検査技師になり職場の人がピンクリボン活動をしていると知り、そういえば友達は乳がんのことを心配しているようだったけど、どんなことをするのか気になったので参加しました。

当日は朝から雨が降っていたので、会場に足を運ぶサポーターは少ないかと心配していましたが、雨の中でもたくさんの方がサッカー観戦に訪れていました。私はピンクリボンキャンペーンのブース紹介の用紙とポケットティッシュを来場者の方に配布しました。初めは声をかけるのが恥ずかしかったけど、次第に大きな声も出るようになり受け取ってもらえるようになりました。

臨床検査技師会では実際に顕微鏡を用いて「がん細胞をみてみよう」というコーナーをやっていました。その他、検診車でマンモグラフィの検診を体験したり、看護師さんや安田女子大学の学生さんによる自己触診模型を使って自己検診法を学んだり、クイズラリーでがん知識を学ぶコーナーなどたくさんのコーナーがありました。各コーナーで体験されている人の中には女性だけでなく、親子連れやカップルの方などたくさんの方にきていただき、乳がんへの関心をもっていただけたと思いました。

また、私も実際にマンモグラフィの機器で疑似体験したり、模型を使ってがんを探してみました。体験したり、話を聞くことで胸の大きさに関係なくマンモグラフィを受けれることや、外から見るだけではわからないもの、ビー玉のような小さなものや硬いものなど様々な形をしたがんがあることを知りました。そして、毎日鏡の前でチェックすることで胸の引きつりなどにも気付けると知りました。

今、日本人の死因の第一位はがんといわれています。乳がんもその中の一つなので早期発見・早期治療により悲しい思いをしないように、もっとたくさんの人たちにピンクリボンの活動を知っていただきたいです。このキャンペーンに参加して日々、触診することや検診を受診することが大切だと分かりました。今回、教わったことを実践し、そして、友達にも簡単にチェックできることを伝え、「がん検診を受診しましょう」と広めていきたいです。



ボランティアスタッフ
(吉山 杏奈さん 写真左)
(桑原 由圭さん 写真右)

移植検査部門輸血検査研修会のご案内

拝啓

皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、広島県臨床検査技師会学術活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、以下のとおり研修会を開催いたします。

多くの施設で困惑した経験があるかと思われる高頻度抗原に対する抗体や自己抗体などを基本に、基礎からその対処方法などをご紹介します。

多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成23年1月29日（土） 15:00～17:00

場 所：県立広島病院 中央棟2階 講堂

テーマ：『検査したほとんどの血球と反応する血清の対処と解釈』

講師：宮城県赤十字血液センター 検査一課検査二係長
伊藤 正一 先生

会場案内

■JR 広島駅から

- 市内電車（所要時間：約20分）：広島港行き⑤号線で、県病院前下車徒歩3分
- バス（所要時間：約20分）：広島バス31号線（翠町循環線）で、県病院前下車徒歩1分

■紙屋町から

- 市内電車（所要時間：約20分）：広島港行き①号線または③号線で、県病院前下車徒歩3分

■八丁堀から

- バス（所要時間：約15分）：広電バス12号線（仁保沖町行き）で県病院前下車徒歩1分

問い合わせ先：県立広島病院 臨床研究検査科 藤井 明美 TEL(082)254-1818



重要

生涯教育委員会よりお知らせ

生涯教育講座第5回（広島地区）日程変更

平成22年度生涯教育講座第5回（広島地区）の開催日を平成23年1月27日（木）から**平成23年1月20日（木）に変更**致します。参加会員の方々には、大変ご迷惑をお掛けしますがご理解のほど宜しくお願い致します。

広臨技求人のご案内（2010.12.1 現在）

問合せ先 （社）広島県臨床検査技師会 事務所 FAX(082)502-6031

技師会ホームページから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
176	平成22年7月16日	検査センター	福山市	③パート	1名	検体検査(血液・一般)
177	平成22年8月11日	病院	広島市安佐北区	②臨時職員	1名	検体検査
179	平成22年8月20日	病院	三次市	②臨時職員	1名	臨床検査業務
181	平成22年11月2日	病院	広島市中区	②臨時職員	2名	臨床検査

随想録

『選挙初体験』

(株)福山臨床検査センター 三次支所
木船 玲子

この夏の参議院選挙は生まれて初めての体験でした。

テレビや新聞で選挙の話題が出始めた 7 月の初め。近所に住む市職員のお友達から頼まれたのが『投票立会人』。「立会人？なにそれ？」話を聞くと、選挙の投票所で何もすることがないのに座って挨拶をしてくれるあのお方たちのこと。「なあんだ、座って皆が投票をするのを見ているだけ？」「簡単なことよ。お昼のお弁当も出るよ！お願いだから頼まれて！」その必死の理由もよくわからないまま、「いいよ～〇〇さんの頼みじゃけえ、引き受けてもいいよ～」と安易に受けてしまいました。

『投票立会人』とは不正投票がないかどうかをチェックする人のことだそうです。

- ・投票立会人は各投票所で 2 名のみ。
- ・投票時間中は席を離れてはいけない。
- ・投票用紙がうまく投票箱に入っていない時、入れ直すのは立会人の仕事。
- ・終了後は鍵をかけて、投票責任者といっしょに開票所まで投票箱を持って行く。

しかも私の行く投票所は、築 40 年以上の集会所で、もちろん冷房設備は数台の扇風機のみ。あ～、〇〇さんが、元気で体力があり話がしやすい自分に、この話を持って来たその訳を、後日になって私はやっと理解したのでした。

さて当日午前 7 時、一番乗りは親戚のおじさん。この一番乗りには、投票箱の中になにも入っていないことを確認し、書類にサインをするという儀式がありました。それが長い一日の始まりでした。

本を読むのはダメ。席を立ってもダメ。昼食は交代で選挙管理委員といっしょ。投票に来る人は疎らで、もう一人の立会人のおじさんとおしゃべりをしたり、時間確認用のラジオを聞いたり、差し入れの飴やコーヒーを頂いたりして少しずつ時間は過ぎました。

本当に長い一日でした。

やっとのことで終了時間。投票責任者が投票終了宣言をし、鍵をかけられた投票箱は、投票責任者ともう一人の立会人といっしょに開票所へ運ばれて行きました。

約 13 時間の拘束された一日が終わり、自宅に帰った私はいつも以上に他所の投票所のニュースに見入り、翌日の新聞でも当選者のことより有権者数と投票率が気になったのでした。

平成 23 年 1 月 行事予定表

10	月	成人祭 de エイズ検査	西区アルパーク周辺	10 : 00～17 : 00
15	土	第 164 回東部地区病理細胞診 合同研修会	三原赤十字病院 2 階講堂	13 : 30～16 : 30
15	土	第 4 回理事会	広臨技事務所	13 : 00～
15	土	平成 23 年 新春祝賀会	ホテルグランヴィア広島 3 F 天平	18 : 30～20 : 30
20	木	第 5 回生涯教育講座 (広島地区)	広島市立広島市民病院 10 階 講堂	18 : 30～20 : 00
20	木	呉地区輸血談話会	呉共済病院西館 3 F 検査部	18 : 30～20 : 00
29	土	輸血検査研修会	県立広島病院 中央棟 2 階 講堂	15 : 00～17 : 00

※平成 23 年 1 月の行事予定詳細や変更は、広臨技行事予定表およびホームページ

info@hiroringi.or.jpでご確認下さい。

